



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月1日

上場会社名 アイコム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6820 URL http://www.icom.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 植畑 敬一 TEL 06-6793-5301
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,288	10.4	768	156.6	1,051	302.5	691	358.0
25年3月期第2四半期	11,130	△4.6	299	△57.6	261	△44.3	150	△49.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 681百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △207百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	46.64	—
25年3月期第2四半期	10.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	55,784	49,489	88.7
25年3月期	54,866	49,105	89.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 49,489百万円 25年3月期 49,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭

配当予想の修正については、本日（平成25年11月1日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,440	2.3	2,240	2.9	2,410	△23.7	1,910	△14.3	128.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	14,850,000株	25年3月期	14,850,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	31,583株	25年3月期	31,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	14,818,417株	25年3月期2Q	14,818,448株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、国内では、大型補正予算による公共投資や消費税増税実施前の駆け込み需要により景況感は改善を続け、雇用環境も好転しつつあるなど景気回復の足取りが強まってまいりました。

一方海外では、米国景気は緩やかに回復しつつも財政問題が顕在化しつつ有り、欧州圏は景気持ち直しの兆しがあるものの、依然として高い失業率、周縁国の債務問題など先行きの不透明感は払拭できず、また、アジア圏でも新興国の通貨が下落するなど不安定な状況が続くとともに、減速傾向にある中国経済の影響を強く受けることとなりました。

このような状況のなか、当企業集団は、先進諸国を中心に期待される無線通信のデジタル化及びシステム化を推進し、新興国向けでは市場に対応した製品を提供するとともに、アジア・中東・アフリカ地域における成長市場の販路強化並びにこれから期待される諸国の市場開拓を行いました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は122億8千8百万円と、前年同期に比べ11億5千8百万円(10.4%増)の増収となりました。試験研究費等の販売費及び一般管理費が増加しましたが増収効果もあり営業利益は7億6千8百万円と、前年同期に比べ4億6千8百万円(156.6%増)の増益となり、為替差益を1億8千2百万円計上したことにより経常利益は10億5千1百万円と、前年同期に比べ7億9千万円(302.5%増)の増益、四半期純利益も6億9千1百万円と、前年同期に比べ5億4千万円(358.0%増)の増益となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

① 日本[当社、和歌山アイコム㈱、アイコム情報機器㈱]

国内市場向けは、アマチュア用無線通信機器は新製品効果もあり好調に推移したものの、前年同期のような復興需要が後退し、陸上業務用無線通信機器は減収となりました。海外市場向けでは為替レートが円安で推移したことにより全カテゴリーで増収となり、特に、欧州及びアジア地域向けが大きく増収となりましたことから、外部顧客に対する売上高は71億5千万円(前年同期比10.2%増)となりました。円安の影響もあり売上総利益は19.7%増益となり、販売費及び一般管理費が3.6%増加しましたが営業利益は7億7千9百万円(前年同期比240.2%増)となりました。

② 北米[Icom America, Inc.、ICOM CANADA HOLDINGS INC.、ICOM DO BRASIL RADIOCOMUNICACAO LTDA.]

米国市場で陸上業務用無線通信機器が減収となり、海上用無線通信機器も前年同期並みとなりましたが、新製品効果のあったアマチュア用無線通信機器は大きく増収となりました。円安の影響により円換算での外部顧客に対する売上高は39億5千2百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

利益面では円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により営業利益は6千6百万円(前年同期比49.0%減)となりました。

③ ヨーロッパ[Icom (Europe) GmbH、Icom Spain, S.L.]

市場の低迷から陸上業務用無線通信機器は減収となりましたが、新製品効果のあったアマチュア用無線通信機器は好調に推移してそれを補い、海上用無線通信機器も増収となりました。円安の影響もあり円換算での外部顧客に対する売上高は4億8千4百万円(前年同期比31.5%増)となりました。

利益面では円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により2千万円の営業損失(前年同期は1千7百万円の営業損失)となりました。

④ アジア・オセアニア[Icom (Australia) Pty., Ltd.、Asia Icom Inc.]

主力市場となるオーストラリアでは、陸上業務用デジタル無線通信機器が鉱山向け等で増収となりましたが、景気減速の影響を受け他のカテゴリーは減収となりました。円安の影響により円換算では外部顧客に対する売上高は7億円(前年同期比0.6%増)となりました。

利益面では、円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により営業利益は3千3百万円(前年同期比57.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度比9億1千8百万円増加し、557億8千4百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金の増加46億6千4百万円及びたな卸資産（合計）の増加3億4千4百万円等の増加要因と、受取手形及び売掛金の減少36億6千万円及び流動資産のその他の減少3億9千3百万円等の減少要因によるものであります。

なお、流動資産のその他の減少3億9千3百万円の主な内訳は、貿易保険に関する未収入金の減少3億9千9百万円等の減少要因によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度比5億3千3百万円増加し、62億9千4百万円となりました。

主な内訳は、流動負債のその他の増加6億6千7百万円及び買掛金の増加4億3百万円等の増加要因と、未払法人税等の減少5億7千6百万円等の減少要因によるものであります。

なお、流動負債のその他の増加6億6千7百万円の主な内訳は、前受金の増加8億7百万円等の増加要因と、未払費用の減少6千3百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度比3億8千4百万円増加し、494億8千9百万円となりました。

主な内訳は、四半期純利益による増加6億9千1百万円等の増加要因と、剰余金の配当による減少2億9千6百万円等の減少要因によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は89.5%から88.7%に低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、おおむね想定範囲内で推移しており、現時点では平成25年5月17日公表の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,046	30,711
受取手形及び売掛金	6,893	3,232
商品及び製品	3,303	3,184
仕掛品	80	73
原材料及び貯蔵品	2,454	2,924
その他	2,925	2,531
貸倒引当金	△27	△29
流動資産合計	41,676	42,628
固定資産		
有形固定資産	7,664	7,529
無形固定資産	138	97
投資その他の資産		
その他	5,480	5,613
貸倒引当金	△93	△83
投資その他の資産合計	5,386	5,529
固定資産合計	13,189	13,156
資産合計	54,866	55,784
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,075	1,479
未払法人税等	911	335
賞与引当金	450	439
製品保証引当金	47	50
その他	1,735	2,403
流動負債合計	4,221	4,707
固定負債		
退職給付引当金	876	922
その他	663	664
固定負債合計	1,539	1,587
負債合計	5,761	6,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,081	7,081
資本剰余金	10,449	10,449
利益剰余金	31,641	32,035
自己株式	△102	△102
株主資本合計	49,068	49,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48	△63
為替換算調整勘定	84	89
その他の包括利益累計額合計	36	26
純資産合計	49,105	49,489
負債純資産合計	54,866	55,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,130	12,288
売上原価	6,627	6,970
売上総利益	4,502	5,318
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	48	—
給料及び手当	965	1,068
賞与引当金繰入額	124	139
退職給付引当金繰入額	60	56
試験研究費	1,475	1,571
その他	1,528	1,713
販売費及び一般管理費	4,203	4,550
営業利益	299	768
営業外収益		
受取利息	111	118
受取配当金	7	4
投資有価証券売却益	—	6
為替差益	—	182
補助金収入	7	6
その他	62	100
営業外収益合計	188	418
営業外費用		
売上割引	77	84
為替差損	134	—
その他	14	50
営業外費用合計	226	134
経常利益	261	1,051
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	262	1,051
法人税等	111	360
少数株主損益調整前四半期純利益	150	691
四半期純利益	150	691

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	150	691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△14
為替換算調整勘定	△318	4
その他の包括利益合計	△358	△10
四半期包括利益	△207	681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△207	681

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。